

# 求める会ニュー入 No. 992

## 10月全体会報告

10月21日(水) 10:30~12:30

### 【検討事項】

#### 1. 会の今後について

##### ○収穫感謝祭について

皆で話し合っていなかった。記念パーティーなど別の形でという意見があれば。

- ・終息したら何か集まりをするという目標を置いておいて欲しい、屋外で開放的な集まりが出来たら良い、生産者に来て頂けたらありがたいの会をする等の意見が出た。最終の総会はしないといけないので、午後から生産者の人と交流会が出来るのでは？3/31に会計を締めた後の4月に。

➡総会の案に賛成が多かった。

##### ○地域集会について

やるとすれば11月末~12月初めはどうか？一人会員で求める会の終了に関してよくわからない人もあるのではないかな？

- ・地域集会に来られる人は決まっているし出て来られる方はニュースなどでご存知。丁寧だとは思いますがわざわざ出てくる人も少ないのでは？➡しなくてもよいという意見が多く地域集会はしないことに決定。

#### 2. あしの会ライン会議について (2面参照)

10/3(日)奥谷さんの奥様とあしの会につながっている人とで40分位。求める会から、飛田、岩本、東山、福本さんが参加。

- ・配送業務が回っていないので、出来たら宅配便にして欲しい、出来るところはグループを1つに纏めて欲しい➡大久保より西の加古川北Gは退会、加古川東Gは宅配便に。
- ・個配料金値上げ 1か所1か月15000円以上の購入があれば配送料無料、以下の場合には1回の配送料が220円だったが、1回500円にしたい(求める会は3月まで不要)。

➡上げ幅が大きいとの意見が出て検討中。

- ・カゴの簡素化 1か月分のカゴに変更。
- ・仕分けの仕事を手伝ってもらえる人募集。  
\*りんご・みかんの配送料は値段に含まれることになる➡多少高くなる(あしの会に確認)  
牛肉・豚肉も奥谷さん存命中は事務的な取り扱いをしてもらえることになっていたが、今後の話し合いに依る。なるだけあしの会のために買い物はあしの会で。

### 【報告事項】

〈生産者担当〉\*野菜：気温が高い日が続く端境期がなかった。種まき期間も虫が多く、青菜類も虫に食われているものも多い。ピーマン、万願寺の中に辛いものがたまに混じっているので、種を取り、気をつけて食べて下さい。

\*卵：順調です。

\*米：高木さんは作付けを減らしておられる。2000kgは確保して欲しいとお願いしている。池野さんは隣からの獣害で苦労されている。

\*果物：温州ミカンの注文締切10/25(月)

〈会員担当〉会員数180人

〈事業部担当〉おかべや業績不振で5/31倒産。宮嶋食品の豆腐類、藤本水産の煮干し・ちりめん、渡辺水産の干物、まるめろの昆布類、ゆずるは百姓連のグリーンレモンを全体会で販売。

〈広報担当〉印刷 10月27日(水)

〈学習研究担当〉枝豆収穫祭10/17(2面参照)

〈会計担当〉会計監査11月2日(火)10時~

〈渉外担当〉10/23(土)15:00~17:00 ビレッジライク懇話会「神戸の海と魚」兵庫漁協 糸谷謙一氏 県民会館 500円  
11/19(金)13:00~16:30 地域農政フォーラム「急速に進む村の崩壊~できるか農村の賑わい創出~」神戸市勤労会館 1000円

### お知らせ

11月17日(水)全体会予定10:30~(緊急事態宣言発令時は休会)

## あしの会とのライン会議について

10月3日、あしの会から、会員、生産者を対象にライン会議の申し入れがあり、求める会から飛田、実務部（福本、東山、岩本）が出席しました。

代表として会全体の運営を仕切ってこられた奥谷勉さんの急逝により、あしの会では必死の立て直しを図られており、会の中で話し合われた結果、目下のところ下記のように見直したい、そのためにご協力をお願いしたいとのことでした。

- ① 配送ルートの見直し ② 配送協力金の見直し ③ 印刷作業（カタログ等）の簡略化
- ④ 業務の効率化のための締め切り厳守 ⑤ 仕分けスタッフの募集

これらについてラインでは色々な意見が述べられました。

会議の中では配送協力金の見直しについて、一か月の購入金額が15,000円以上は無料、それ以下は一回につき220円だったのが当面の間500円とするということに関しては、色々な意見が出ました。これについてはとりあえず数か月様子を見て改めて見直したいとのことでした。（求める会の会員の方には3月までは配送費は付きません。）

求める会はこの申し入れに対し、配送ルートを少し見直す協力をさせていただきました。

（実務部 松浜 G 岩本美樹子）

## 枝豆収穫祭に参加して

2021.10.17 市島 高木さんの畑で

朝はしっかり降っていた雨も電車で市島に向かう頃には薄く陽がさす時も。このまま天気が回復するかと思うとまた降り出したり、結局降ったりやんだりの中での収穫体験となりました。雨模様の天気予報と、家族にコロナの濃厚接触の疑いのある人が出たりと、いろんな理由で欠席者が相次ぎ、参加者が20人と例年に比べ少し寂しかったです。

今年は大豆畑トラスト用の大豆（借金なし・白豆）が枝豆として食べるには堅くなっていたので、高木さんの他の畑の大豆（水くぐり・青豆）を収穫させていただきましたが、豆に依ってこんなに味が違うのかと驚きました。大人も子供も豆がずっしり着いた枝を持ってスマホに向かってニッコリ。収穫作業の後いつもの畑に寄って豆をチェック、豆の緑が黄色っぽく固くなっていました。



集合写真を撮ってから、車で丹波市立農（みのり）の学校の黒豆の畑に移動、大きく太った枝豆の説明を受けました。黒豆の収穫時期は、本来は一月過ぎのところ葉を取って熟成させお正月に間に合わせるそうです。残念ながらここでは収穫作業は無く、学校に向かいました。丹波市が設置し指定管理者制度を受けた法人が運営する、農業を仕事にしたい人向けの学校で、来年大豆畑トラストの仲間になる予定です。ちょうど4期生向けの学校案内をしていました。定員20人、一年間で農業の実地指導、農業経理や販売等学びます。農家民宿の経営者などいろんな人が講師として招かれているとのこと、若いスタッフが一生懸命案内してくれました。

今回は収穫作業としてはちょっと物足りなかったかも知れませんが、バラエティのある半日でした。

（松並 G 池田真知子）

## 「ママベク」の千葉さんよりお便りが届きました

求める会から安全な野菜や果物をお送りしている「いわきの初期被曝を追及するママの会」(ママベク) 代表の千葉由美さんより、この夏、お礼のお手紙が届きました。お手紙とともに送られてきた「2021年8月 近況レポート」には、小・中学校・公園の放射線量の測定、「ママcafé かもみーる」の自粛のなか工夫して交流を続けたり、自治体への要請、汚染水の海洋放出への抗議活動など、猛暑にもコロナにも負けない千葉さんたちの活動が紹介されています。これらの活動報告は事務所に置いてありますので、いつでも閲覧できます。

### 食品公害を追放し安全な食べ物を求める会様

いつも大変お世話になっております。

暑い日が続きますが、皆様、お元気でお過ごしですか？

本当は今年の3月にお送りしようと思っていたのですが、次から次へといろいろなことがあって、報告書等の準備がなかなか進まず、今頃になって申し訳ありません。

多大なご支援を継続していただいていることに、心からの感謝を申し上げます。先日もたくさんのきゅうり、トマトを橋本農園さんよりお届けいただき、ありがとうございます。また、「あしの会」さんとのご縁をつないでいただきましたことにも、改めてお礼を申し上げます。(【注】を参照)

事故から10年が経ち、日常が戻ったようにも感じますが、実際には事故前がどんな生活だったのかも思い出せないような慌ただしい日が続いています。

原発の廃炉の目途はいまだに立っていないというのに、まるで収束したかのように復興を伝える報道ばかりです。あまりの愚かさ、能天気さに呆れてしまって、テレビはほとんど観なくなりました。原発事故の被害者となり、私たちはこの国の第一優先は市民の命ではないことを知りました。今はコロナによって日本中の人々がそれを実感しているのではないかと思います。守るべきものを守るためには真実を見抜く力が必要だということ、情報を鵜呑みにすることの危険性を痛感していますが、真実を追及すればするほど、伝えられている情報には嘘偽りが多いということも知りました。年齢的にだんだん無理がきかなくなってきましたが、できるかぎりこれからも真実を追及し、具体的な行動を起こしていきたいと思っています。また、ママベクが行っている放射線量の測定活動は、原発事故の実態を未来に伝えるという意味でもとても重要な仕事ですので、こちらも体力が続く限りはがんばりたいと思います。

まだまだ厳しい暑さが続きますが、どうかお身体を大切に、元気にお過ごしくださいませ。

千葉由美

【注】「あしの会」さんとのご縁＝先日突然お亡くなりになった「あしの会」代表の奥谷勉さんより、福島で反原発運動をしているグループを紹介してほしいと求める会に問い合わせがあり、「ママベク」に有機農産物をお送りする活動を続けていることをお伝えしたところ、「あしの会」でカンパを集め、千葉さんに送られたということです。

## 11月のカレンダー

- 11月10日(水) 部会  
11月17日(水) 全体会  
(緊急事態宣言発令の場合は休止)  
11月20日(土) 共同購入申込締切日  
11月22日(月) 自動引き落とし日  
11月24日(水) 食料環境セミナー



## 食料環境セミナー

「アグロエコロジーと私たち  
: 食べる側の視点から」  
2021年11月24日(水) 10:30~12:00  
講師: 近畿大学名誉教授  
西日本アグロエコロジー協会共同代表  
池上 甲一 さん  
会場: 神戸学生青年センターホール  
参加費: 600円

## 11月全体会の議題

1. 会の今後について
2. あしの会との話し合いについて

## 【訂正とお詫び】

10月号の求める会ニュース2面、「ゆづるは百姓連」の中村繁樹さんの訃報の記事で、中村さんのお名前が「茂樹」となっていました。正しくは「繁樹」です。  
お詫びして、訂正いたします。

## 地域農政フォーラム

11月19日(金) 13:00~16:30  
「急速に進む村の崩壊  
~できるか農村の賑わい創出~」  
報告者3名(多可町、淡路市、県農政課長)  
会場: 神戸市勤労会館  
参加費: 1000円

## 「ブクブクうがい」と「ガラガラうがい」でコロナ&インフルエンザ予防

### うがいの仕方

<p>1 コップに水を 用意して</p> <p>水道水で OK</p>	<p>2 口に半分ぐらい、 水を含み</p>
<p>3 正面を向いたまま 「ブクブク」と</p> <p>口の中の 食べかす を浮かせて 吐き出す</p>	<p>4 もう一度、 口に水を含み</p>
<p>5 顔を上に上げて 「ガラガラ」と</p> <p>「あー」や 「うー」と 声を出して</p>	<p>6 「ガラガラ」うがいは 2~3回</p> <p>ガラ ガラ</p> <p>ガラ ガラ</p> <p>1回は 15秒 ぐらい</p>

菌やウィルスの侵入を防ぐために、正しい「うがい」のやり方と手順で、しっかり感染を予防しましょう。

右の図のような順番でうがいをします。

【ブクブクうがい】口の汚れを洗い流し、口臭予防にも効果的。①口に水を含む ②右のほおを膨らませて3~4回ブクブクと動かす。左側も同じようにブクブク ③鼻の下、上唇と歯茎の間を膨らませて3~4回ブクブク ④口全体を膨らませて3~4回ブクブク

【ガラガラうがい】喉の奥の汚れを洗い流し、喉に潤いを与え、風邪予防に効果的。①口に水を含む ②上を向き、のどの奥に水が当たるように意識して「あー」「うー」と発音しながら15秒うがいをする ③新しい水を口に含み、もう一度同じよううがいをする

「ブクブクうがい」は口腔内を清潔に保つだけでなく、口の周りの筋肉を鍛える効果的な運動にもなります。

【参考資料】朝日新聞「Re ライフ net.」より「感染症専門医が教える『うがい』や『手洗い』の予防効果」一ほか  
(亀井町G 今田 裕子)